

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【公開番号】特開2011-143141(P2011-143141A)

【公開日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-030

【出願番号】特願2010-7832(P2010-7832)

【国際特許分類】

A 6 1 B 8/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 8/00

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月20日(2012.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体の撮像対象に超音波ビームを送信すると共に、該撮像対象からの反射エコー信号を受信する超音波探触子と、前記超音波探触子からの反射エコー信号を受信して信号処理する信号処理部と、前記信号処理部で信号処理された反射エコー信号から超音波画像データへ変換する変換部と、前記超音波画像データを超音波画像として表示する表示部とを備えた超音波診断装置であって、

複数得られた二次元の超音波画像のうちの三次元の超音波画像の構成に寄与しない二次元の超音波画像を特定し、前記特定された二次元の超音波画像を除去するデータ除去処理部と、

前記データ除去処理部で除去されなかった二次元の超音波画像を用いて前記撮像対象の運動の時相を演算する時相演算処理部と、

前記時相演算処理部に演算された運動の同時相での前記撮像対象の三次元の超音波画像を用いて三次元の超音波画像を構成するボリュームデータ構成処理部とを備えたことを特徴とする超音波診断装置。

【請求項2】

前記データ除去処理部は、前記撮像対象の領域の形状の円形度に基づき前記三次元の超音波画像を除去する請求項1に記載の超音波診断装置。

【請求項3】

前記データ除去処理部は、前記撮像対象の領域の輝度値に基づき前記三次元の超音波画像を除去する請求項1に記載の超音波診断装置。

【請求項4】

前記撮像対象の参照画像を記憶する外部記憶部をさらに備え、

前記データ除去処理部は、前記外部記憶部に記憶された参照画像と前記変換部に変換された撮像対象の三次元の超音波画像との比較に基づき前記三次元の超音波画像を除去する請求項1に記載の超音波診断装置。